

# 基督教学研究

第 15 号

論文

罪をおかすことによつて罪から救贖できる？

——ユダヤ神秘主義の失敗からの警告——……………森田雄三郎…一

ブルトマンと聖書……………

……………笠井恵二…三

アウグスチヌスの恩寵論……………

……………伊藤邦幸…五

研究ノート

ニシビスのエフライムの解釈学……………

……………武藤慎一…八

P・テイリツヒにおける「カイロス」と認識の形而上学

——歴史相対主義の克服を巡つて——……………今井尚生…壹

「コヘレトの言葉」の構造と思想

——一人称表現の用法をめぐつて——……………金井由嗣…一七

彙報

一九九二年度基督教學講座講義題目

水垣 渉 教授 講義 「キリスト教思想の基礎・終末の思想」

研究 「キリスト教思想における「関係」を表わす諸概念」

長谷正當 教授 研究 「想像力と超越の問題」

森田雄三郎 講師 研究 「無と創造・形成」

金井新二 講師 研究 「ウェーバーと宗教史」

岡崎文明 講師 研究 「中世のプラトン主義」

水垣 渉 教授 演習 「Clemens Alexandrinus: Stromata VII」

演習 「パウロ：ローマ人への手紙——原典購読と思想研究」

長谷正當 教授 演習 「P. Tillich: Systematic Theology」

田口義弘 教授 演習 「M. Buber: Ekstase und Bekenntnis 及び Aus einer philosophischen Rechenschaft」

勝村弘也 講師 演習 「古典ヘンライ語文法及び「箴言」講読」

宮庄哲夫 講師 演習 「M. Luther: Von den guten Werken」

菅名定道 講師 講読 「H. Richard Niebuhr: Faith on Earth」

一九九二年度論文題目

卒業論文

中村いづみ

間島晃洋

「C. S. Lewis の悪魔観」  
「アウグスティヌスの回心における記憶の役割について」  
「テイリッヒの象徴論における「参与」」  
「コーヘレトにおける神と知恵」

今井尚生

金井由嗣

修士論文

武藤慎一

「クリュストモスの解釈学——神理解の可能性と不可能性の問題を巡って——」

一九九三年度基督教學講座講義題目

水垣 渉 教授 講義 「原始キリスト教」

研究 「信仰・言語・思想」

長谷正當 教授 研究 「認識と欲望」

片柳栄一 講師 研究 「人間的自由をめぐって——その歴史の宗教哲学的考察」

水垣 渉 教授 演習 「Clemens Alexandrinus: Stromata VII. 18. 1 から」

勝村弘也 講師 演習 「古典ヘンライ語文法及び「エレミヤ書」講読」

宮庄哲夫 講師 演習  
芦名定道 講師 演習  
[M. Luther: Von den guten Werken]  
[H. Richard Niebuhr: Faith on Earth]

勝村弘也 講師 演習  
[「ヘブライ語及び旧約釈義 (『ヘンニヤ書』)』]

小池三郎 講師 演習  
[Augustinus: De Peccatorum Meritis et Remissione]

宮谷宣史 講師 演習  
芦名定道 講師 演習  
[Augustinus: Confessiones]  
[P. Stuhlmacher: Von Verstehen des Neuen Testaments]

宮谷宣史 講師 演習  
土居健司 助手 講読  
[Augustinus: Confessiones]  
[「ヨハネ福音書」原典講読]

土居健司 助手 講読  
[B. Lonergan: The Way to Nicea]

一九九三年度論文題目

卒業論文

提出者無し  
修士論文 提出者無し

田里友治 「キェルケゴールの「反復」の概念について」

一九九四年度基督教教学講座講義題目

藤田正勝 助教授 講義  
[「宗教学概論」]

森重進一 「カルヴァン『キリスト教綱要』における神認識と自己認識の問題」

長谷正當 教授 研究  
土屋博 講師 研究  
[「認識と欲望Ⅱ」]  
「キリスト教における教典の成立と受容」

山崎茂夫 「キプリアヌスにおける「教会の一致」——「カトリック教会の一致について」を中心に——」

片柳栄一 講師 研究  
[「人間的自由をめぐる」]

今井尚生 「P・テイリッヒにおける「カイロス」と認識の形而上学——歴史相対主義の克服を巡って——」

森哲郎 講師 研究  
水垣涉 教授 演習  
[Athanasius: De Incarnatione Verbi Dei]

長谷正當 教授 演習

[P. Tillich: Systematic Theology]

林忠良 講師 演習

[S. Kierkegaard: Philosophiske Smuler]

第一号目次

終末論の二類型 ..... 武藤 一雄  
 キリスト論の視点 ..... 森田 雄三郎  
 初期アウグスティヌスの人間学 ..... 金子 晴勇  
 Lumen Christi ..... 佐藤 吉昭  
 ルターの "obituar" に関する一考察 ..... 早乙女 禮子  
 ルターにおける信仰と礼典 ..... 竹原 創一  
 バルト「ローマ人への手紙」における神認識 ..... 村山 周治

第二号目次

オリゲネスの「キリスト教理解」 ..... 水垣 渉  
 ゲッセマネ ..... 大島 征二  
 神学における言葉の問題 ..... 竹原 創一  
 アウグスティヌスにおけるキリストの人性について ..... 小池 三郎  
 ギリシア語旧約聖書における *metabola* について ..... 伊藤 利行  
 エルンスト・トレルチにおける "Kompromiss" の概念 ..... 安酸 敏真  
 シェリングに於ける「世界経験」について ..... 森 哲郎  
 ルターにおける「外」と「内」についての一考察 ..... 片柳 俊子

第三号目次

キルケゴール研究の方法について ..... 小川 圭治  
 エイレナイオスと聖書 ..... 菊地 栄三  
 テイリツヒの芸術神学について ..... 田辺 明子  
 絶対の相の下に ..... 片柳 栄一  
 ルターの律法理解 ..... 宮庄 哲夫  
 聖書へブル語統辞論のテキスト言語学的考察 ..... 勝村 弘也

第四号目次

ルターの解釈学は「実存論的解釈」といえるか ..... 今井 晋  
 キプリアヌスの教会理解 ..... 佐藤 吉昭  
 ノビリの印度伝道 ..... 塩谷 悟  
 テンプルックのヴェーバー解釈をめぐる論争 ..... 高野 晃兆  
 フィロンとキリスト教 ..... 平石 善司  
 ルターの抵抗権思想における服従の問題 ..... 早乙女 禮子  
 創世記テキストにおける語りの技法 ..... 勝村 弘也  
 シェリングに於ける神話と世界 ..... 森 哲郎  
 ヘクサプラ断片の残存率について ..... 伊藤 利行

第五号目次

解釈学的教義学の構成について ..... 森田雄三郎  
 内村鑑三と「身体の救い」 ..... 原島正  
 言語芸術作品としての旧約聖書物語テキスト ..... 勝村弘也  
 エルンスト・トレルチにおける .....  
 「歴史の神学」の構想 ..... 安酸敏真  
 教義学的思考における解釈学的循環の問題 ..... 掛川富康

第六号(武藤一雄名誉教授古希記念特別号) 目次

神学的宗教哲学について ..... 武藤一雄  
 アレクサンドリアのフィロンにおける .....  
 能動と受動の問題 ..... 水垣征二  
 奇蹟物語へのマジナリア ..... 大島征二  
 アルバート・シュヴァイツァーの聖餐論への .....  
 新約聖書学的批判 ..... 田辺明子  
 ヨセフスのモーセ物語について ..... 秦剛平  
 エイレナイオスの人間理解 ..... 菊地栄三  
 キプリアヌスの『棄教者論』考察 ..... 佐藤吉昭  
 アウグスティヌスの時間論 ..... 片柳栄一  
 ルターにおける「アフエクトゥス」の問題 ..... 今井晋  
 ルターとアウグスティヌス ..... 金子晴勇

神学的構造主義の問題 ..... 森田雄三郎  
 M・ヴェーバー「古代ユダヤ教」と .....  
 パーリア民族の概念 ..... 高野晃兆  
 浄土系仏教とキリスト教の救済論の .....  
 一異に関する考察 ..... 原田博充  
 日本の伝統的宗教的心情とキリスト教との .....  
 関連について ..... 名木田 薫  
 ウイリアム・ケアリの伝道に対する貢献 ..... 塩谷 悟  
 神概念の転換 ..... 小川 圭治

第七号目次

ルターと神学的決定論 ..... 金子晴勇  
 Inago Da'iとしての精神の自覚の三一的構造 ..... 片柳栄一  
 脚下照願 ..... 武藤一雄  
 M・ヴェーバー「古代ユダヤ教」と .....  
 カスパリの批判(一九二二) ..... 高野晃兆  
 パウル・ティリツヒと象徴の問題 ..... 芦名定道  
 第八号目次 .....  
 キリスト教概念の成立(その一) ..... 水垣 渉  
 アルベルト・シュヴァイツァーの「イエス神秘主義」 ..... 笠井 恵二

シェリング『自由論』再考(一) ..... 森 哲郎  
ルターにおける職業観の問題 ..... 早乙女 禮子

第九号目次

西田幾多郎とキリスト教 ..... 小川 圭治  
R・ブルトマンにとつてのイエスの意義に関して ..... 名木田 薫  
旧約物語テキストにおけるヒンネー(見よ)の機能 ..... 勝村 弘也  
シェリング『自由論』再考(二) ..... 森 哲郎  
P・テイリツヒの時間論 ..... 芦名 定道  
キェルケゴールの「自己の定義」について ..... 山本 忠義

第十号目次

ルターにおける「体験」の問題——一つの覚書—— ..... 今井 晋  
シユタウピッツとルターの神秘思想 ..... 金子 晴勇  
ルターとカールシュタット(一) ..... 宮庄 哲夫  
ルターにおける試練について ..... 竹原 創一  
神学主義と宗教主義 ..... 武藤 一雄  
オリゲネス『原理論』に於ける悪の問題序論 ..... 久山 道彦

キェルケゴール『死に至る病』の「キリスト教的理解」 ..... 信岡 茂浩

第十一号目次

創造と進化——創造における無—— ..... 森田 雄三郎  
ルターとカールシュタット(二) ..... 宮庄 哲夫  
神言表の可能性とその八言述的V「合理化」の問題 ..... 掛川 富康  
ヘブライズムとギリシア語聖書 ..... 伊藤 利行  
エラスムスの「敬虔」概念の倫理的基礎 ..... 畑 宏枝

第十二号目次

神探求の場の開示 ..... 片柳 栄一  
二つの歴史的社会的イエス研究について ..... 大島 征二  
「思い煩う」(ルカ二・二二〜三三)について ..... 田辺 明子  
レッスングの神学思想——序説—— ..... 安酸 敏真  
自由意志論争におけるエラスムスとルター ..... 畑 宏枝  
アントニオスの修道 ..... 竹田 文彦

第十三号目次

内村鑑三における「内と外」の論理	原島正
キリスト教倫理の源泉	名木田 薫
七十人訳翻訳史序説(二)	秦 剛平
隠喩と神学的実在論	芦 名 定道
ニュッサのグレゴリオスの	土井 健司
「鏡」における神認識の存否	松 丸 太
オリゲネスにおける神のエネルギー	

第十四号目次

キルケゴールにおける論理的問題	林 忠良
罪の自覚——その人間学的考察	内 村 公 義
モルトマンの歴史理解	
——希望の神学と現代世界の問題	笠 井 恵 二
探究する聖霊——初期オリゲネスにおける	
解釈学的原理	久 山 道 彦
ニュッサのグレゴリオスにおける	
「鏡」の概念について	土 井 健 司
クリュソストモスの解釈学——神理解の	
可能性と不可能性の問題を巡って	武 藤 慎 一
伊藤邦幸氏の逝去を悼む	高 野 晃 兆

執筆者

森田雄三郎

同志社大学名誉教授

笠井恵二

京都産業大学教授

(故)伊藤邦幸

日本キリスト教海外医療協力会オカルドゥンガ診療所長

武藤慎一

京都大学大学院博士課程在学中

今井尚生

京都大学大学院博士課程在学中

金井由嗣

京都大学大学院修士課程在学中



第十五号編集実務委員会

小池三郎  
高野晃兆  
林野忠良  
片柳栄一  
宮庄哲夫  
芦名定道

一九九六年三月一五日印刷  
一九九六年三月二〇日発行

定価 一五四五円  
(本体価格 一五〇〇円)

発行者

京都大学基督教学会

京都市左京区吉田本町

京都大学文学部基督教学教室内

発行人

小池三郎

発売元

(株)大阪キリスト教書店

大阪市北区曾根崎新地二一―五

印刷所

シヤローム工房

.....  
本誌の御註文は、最寄のキリスト教書店、  
もしくは、右記、京都大学基督教学会(振  
替〇〇三〇一五―七二〇七)へ、送料とも  
一七四〇円(本体価格一五〇〇円、送料二  
四〇円)を添えてお申込み下さい。

JOURNAL  
OF  
CHRISTIAN STUDIES

KIRISUTOKYOGAKU KENKYU

---

---

Vol. 15

March, 1996

---

---

Contents

<i>Erlösung durch Sünde?</i>	..... Yuuzaburo Morita
<i>R. Bultmann und die Bibel</i>	..... Keiji Kasai
<i>Augustine's Theory of Grace</i>	..... Kuniyuki Ito
<i>The Hermeneutics of Ephrem of Nisibis</i>	..... Shinichi Muto
<i>Kairos and the Metaphysics of Knowledge in P. Tillich</i>	..... Shosei Imai
<i>Structure and Thought in the Book of Qoheleth</i> — <i>A study on the usage of the first person expression</i>	..... Yoshitsugu Kanai

THE SOCIETY OF CHRISTIAN STUDIES  
KYOTO UNIVERSITY

Kyoto Japan